

大学と地方政治の 連携基盤構築を 目指す研究会

地方議員
のための
勉強会

EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

第五回

ウェルビーイングを目指す「次世代医療」

少子高齢化の進行により、医療需要は拡大し、医療人材の不足が進行しています。医療現場の質の確保や生産性向上、働き方改革にもつながるよう、スマート医療の実現に向けて産官学が研究開発や実証に取り組んでいます。データやICT等の技術革新の積極的な導入、費用対効果の高い形での活用を事例とあわせて紹介します。

2022年
(令和4) 5月25日[水]

会場：金沢勤労者プラザ
金沢市北安江3-2-20 4階・406研修室

第一部

10:00～12:00

発達障害と学校

発達障害の子ども達には、一人ひとりの個性に合わせた指導や支援が重要な役割を果たします。その子ども達が、本来の力を発揮できる街の実現を目指している、加賀市での事例を基に、最近試験的に開始した、乳幼児の睡眠サポートシステムについて紹介します。

講師



菊知 充 (きくち みつる)

医薬保健研究域 医学系 精神行動科学 教授

博士(医学)。専門は精神医学。研究テーマ：発達障害児の脳機能と認知特性。加賀市をフィールドとし様々な研究を行う。

主な著作：今日の治療指針2022年版『大人の発達障害』（分担執筆、2022年）、『社会脳から心を探る—自己と他者をつなぐ社会適応の脳内メカニズム（学術会議叢書26）』（共著、2020年）、『自閉症という謎に迫る』（分担執筆、2013年）など。

第二部

13:00～15:00

医療・健康分野のデジタル トランスフォーメーション(Dx)

少子高齢化にともなう人口減少が日本の医療現場を切迫しています。この問題の解決に期待される、最近の医療・健康分野のデジタルトランスフォーメーション(Dx)について紹介します。そのテクノロジーを用いた、「誰もが?痩せれる方法」を実際の症例などを用いて、解説します。

講師



米田 隆 (よねだ たかし)

金沢大学 融合研究域 融合科学系 教授

金沢大学 博士課程 医学研究科 第二内科学 修了。専門は高血圧、糖尿病、肥満などの生活習慣病。あすけん社ダイエットアプリ監修。

生活習慣病予防、医師不足、社会保障の高騰、コロナで疲弊した行政保護の支援、医療費問題等、幅広くコストパフォーマンスの良い仕組みに繋げる研究を行う。

EBPMを活用。産官学金体制で「次世代スマートリージョン」を実現！

行政機関の仕事のあるべき姿に立ち返るための仕組みとして、今期待されているのが「EBPM」です。行政機関においては、民意によって選ばれた議員の声やさまざまなアンケートの結果、有識者の意見を参考にしながら、何らかの根拠に基づいて政策を立案・実行していました。エビデンスとなるデータを集めようにも、予算や資源、人材の面で限界がありました。しかし近年、ビッグデータや人口知能AIの活用により膨大なデータから一見見えにくい傾向の抽出が可能になりました。さらに、SNSやネット上の膨大な情報やIoTを活用し、実社会の克明な動きを把握することも可能となりました。EBPMは、ICTが急激に進化したからこそ、実践できるようになった考え方といえます。このEBPMの基盤となる様々なデータや最新技術に関して、大学教員と情報交換を行い、地域の産官学金連携体制の構築や、未来につながる社会実験を、地方議員による政治主導で推進し、制度化・政策化を実現していくため、本研究会を企画・開催します。

第五回

5 ウェルビーイングを目指す「次世代医療」

2022年（令和4）5月25日 [水] 第一部10:00～12:00 / 第二部13:00～15:00

金沢勤労者プラザ 金沢市北安江3-2-20 4階 406研修室 TEL.076-221-7771

対 象：県会議員・市町村議員30～50名程度

参加費：15,000円（1部・1講座あたり/税込）※午前・午後どちらの部にもご参加の場合30,000円

メールにてお申し込み頂くか、以下申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてご送信ください

参加部会	✓をご記入ください	
	<input type="checkbox"/> 第一部 発達障害と学校	<input type="checkbox"/> 第二部 医療・健康分野のデジタルトランスフォーメーション(Dx)
所属 (議会名・会派名など)		
氏名	ふりがな	
住所	〒	
電話番号 (携帯電話)		FAX 番号
e-mail	日常的に受信できるPCアドレス	
領収証の要・不要	<input type="checkbox"/> 必要 宛名▶議会名・会派・氏名・その他() <input type="checkbox"/> 不要	
特に学びたい内容や、教授への質問、その他ご要望がございましたらお聞かせください。		

※ご記入頂きました個人情報、本事業の実施・運営にのみ利用いたします。

参加お申し込み先
FAX:076-298-8904

labo@r-sr.co.jp

Facebook
@regionalrevital

